

# 運営推進会議第1回

令和 3年1月31日

グループホーム軽井沢

## □議 題□

- ・近況活動報告
- ・介護ケア事例研究について
- ・人権と尊厳について
- ・質疑応答

入居者ご家族 様 欠席

地域住民 様 欠席

松山市介護保険課 様 欠席

地域包括西 様 欠席

松山市社会福祉協議会 欠席

民生委員 様 欠席

グループホーム軽井沢職員 出席

コロナ対策の為文書開催とする

1 入居(所)者の状況( 1月 26 日)		(男性 5 人、女性 13 人)										
内 訳	要支援2	0人	要介護1	3人	要介護2	0人	要介護3	8人	要介護4	2人	要介護5	5人
12月	入居(所)	0 人										
	退居(所)	0 人										
1 月	入居(所)	0 人										
	退居(所)	0 人										
2 主な活動、出来事												
12 月 6 日	第6回運営推進会議内容の意見・要望締切日(各関係者意見・要望なし) 12/9松山市介護保険課へ運推報告書郵送											
12 月 8 日	合同ユニット会議行う(来月の運推テーマ、各利用者のケアについて、各自で自分の自己評価する。業務連絡事項)											
12 月 14 日	こどもの国保育園へクリスマスプレゼント届ける											
12 月 23 日	ユニット合同でクリスマス会行う。											
1 月 12 日	合同ユニット会議行う(運推テーマ、各利用者のケアについて、業務連絡事項)第4回身体拘束・虐待化適正委員会行											
1 月 15 日	利用者のお誕生日会行う。											
1 月 20 日	新年祝い行事行う。(書初め)											
月 日												
月 日												
3 次期の主な活動予定												
2 月 日	節分行事											
2 月 日	施設内土砂災害避難訓練											
3 月 日	第2回運営推進会議開催											
3 月 日	インシデント委員会開催											
月 日												
4 特記事項、その他												
①												
②												
③												
④												

# 介護ケア事例研究

## 1. 基本情報

利用者名 T氏	70歳代	女性	要介護 1
認知症高齢者の日常生活自立度		障害高齢者の日常生活自立度	

## 2. 本人の状況

入居するまで気ままな一人暮らしをしていたが、認知症のため独居生活が難しくなり家族の希望により施設入居となった。本人は何故ここに居るのか新しい環境に戸惑い、なぜ私はここに居るの？なんでここに来たんでしょうか？など、常に訴えている。室内をウロウロしたり外へ出たがることも多くある。また、他の入居者の行動などが、ものすごく気になり落ち着かない様子でもある。ADLやIADLは声掛けで行う事ができているが言動や行動などすぐに忘れてしまう。生活歴→調理の仕事をしていた。結婚歴なし。おせっかいやき。頑固。

## 3. 本人のニーズ・課題

お金がない 家に帰りたい 外へ出たい  
認知症の観点  
身体を使っていく(体操など) 日課的に毎日行う  
食事の準備時、料理などのお手伝いをしてもらおう。  
本人の出来そうな事を考える。

### 長期目標

施設での生活を楽しく過ごす事が出来る

### 短期目標

施設生活に馴染め不安な言動や行動が軽減する(二か月間の様子を評価する)

### ケア内容

1気分転換の時間を作る ・ラジオ体操am10:00とpm15:00。職員や他の入居者と一緒に行く。  
・外へ散歩に行く(外へ行くのは本人の一番の訴えであるため)  
2.洗い物や食器を拭くなどのお手伝いに参加してもらい培った力を発揮し自信を持ってもらう。

# 介護ケア事例研究

# 介護ケア事例研究

## 5. 実施内容

<p>〈かかわり〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・散歩→職員が声掛けし時々(1週間に1度の頻度)午後から散歩へ行く。その後はコロナの感染状況の対応により散歩に行けない状況になった。</li><li>・体操→テレビでラジオ体操が始まると職員が「体操する？」と声掛けしていた。本人の気分のムラがあり積極的に行う事ができなかった。</li></ul>	<p>〈本人の様子〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・散歩へ行くのは、すごく楽しみにしている様子。散歩中も楽しそうな表情もあり。</li><li>・本人に体操の声掛けしても拒否する事が多くあった。「私はいいです。できません。」など何度も言うが他人がしている様子を見て近くによってくる。また、ラジオ体操がテレビから流れると自ら体操をする姿もあった。</li></ul>
--	--

## 6. 考察

<p>職員がレク等の声掛けしようと思っても、認知症による症状や自身の頑固な性格により参加することも少なく、プライドも人一倍高いなどの要因によって居室で過ごす時間も増えた。他人のしている様子を見て、自分にも出来る、やれそうだと思う事柄については積極的に参加していた。今後、認知症の進行を進んでくると思われるため、今のADLを保つためにも本人の性格を見極めながらケアしていく。</p>
--

# 介護ケア事例研究

## 1. 基本情報

利用者名 S氏	年齢 60歳代	性別 男	要介護度 3
認知症高齢者の日常生活自立度		障害高齢者の日常生活自立度	

## 2. ADLの状況

日常生活動作はほぼ問題なし。たまにトイレの場所が分からない、衣類の着方が分からなくなったりはある。耳が遠いため、職員の言葉が聞き取れず理解できない時がある。

## 3. 本人の課題

仕事に行かなければいけない、お金が欲しい、等と精神的に不安定になり落ち着きがなくなる。急に怒りだしたり、外へ出て行ってしまう。話も二転三転し、突発的な行動を取る事がある。

## 4. ケアプラン

### 長期目標

精神的に安定し、日々を過ごす事ができる

### 短期目標

外に出て行く事が減る、怒る事が少なくなる、仕事やお金への執着心が減る

### ケア内容

- ・本人の訴えをちゃんと聞いて理解する事に努める
- ・本人が感情的になっても落ち着いて対応する  
(職員一人のみで対応せず、全員で行う事)
- ・外に出て行く事を無理に止めない
- ・レク、散歩、ドライブなど気分転換できるような事を考える

# 介護ケア事例研究

## 5. 実施内容

〈かかわり〉	〈本人の様子〉

## 6. 考察

--